

科目名	多文化共生論
単位数	2単位
担当者	明石 真和
授業種別	講義科目

サブタイトル	共生を考える			
授業内容	今日の世界で、異なる文化を持つ人びとや民族が同じ地域に住むことは、ごく普通のことになりました。そのような多様な文化を持つ人々が共生していくには、何が必要なのでしょう？世界の歴史上の出来事だけでなく、我々の日常で身近にある実例も取り上げながら、共生について考えていきましょう。21世紀の日本は、少子化の問題もあり、他国の人々の協力がなくては国を維持できないかもしれません。我々ひとりひとりが、身近な問題として、「共生」を考えなくてはいけない時代になっています。そのような目的意識をもって受講することを期待します。			
アクティブ・ラーニングの要素	発見学習／リアクションペーパー			
到達目標	歴史上の例や身近な事例を通して、受講生各自が自分の問題としてとらえてくれるようになることが一番の目標です。コミュニケーション力、課題発見力、問題解決力を育成します。			
到達目標となる駿大社会人基礎力	①言語処理力／③情報収集力／⑦主体的行動力／⑬課題発見力／⑮問題解決力			
卒業認定・学位授与方針との関連	この科目は、ディプロマポリシー（全学部）の「（４）協働する力」、「（５）総合的な力」に関連しています。共生をテーマに、コミュニケーション力、課題発見力、問題解決力を養うものです。			
関連科目	特に指定しませんが、世界や歴史に関するものはすべて関連科目です。			
テキスト・参考書等				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
—	—	—	—	—
授業外における学習方法及び必要な時間	基本的には、まじめに授業に取り組むことで、目標は達成されます。復習してわからない部分があれば、自分で調べるか、担当教員に質問してください。週の学習時間の目安は４時間です。			
成績評価方法				
評価方法		評価割合		成績評価基準等
期末レポート		80%		自由課題でのレポートを課す。問題発見や問題解決力を評価する。
中間課題		20%		自由課題での小レポートを課す。自身の経験に基づく着眼点を特に評価します。
課題に対するフィードバックの方法	リアクションペーパーを使って、質問や感想を受け付けます。質問や問い合わせについては、個別メールで、あるいはその後の授業時に回答します。			
実務経験のある教員による授業科目等				
担当教員の実務経験			実践的な教育の取組	
—			—	
授業計画				
第1回	オリエンテーション			
第2回	文化と共生			
第3回	世界史と共生			
第4回	日本史と共生			
第5回	西洋における共生・非共生			
第6回	ドイツ			
第7回	英国			
第8回	アメリカ			

第9回	アジアの例
第10回	日常の事例 その1 ボランティア
第11回	日常の事例 その2 点字、盲導犬
第12回	スポーツと共生
第13回	オリンピック、パラリンピック
第14回	関連資料（DVD等）の視聴
第15回	まとめ
第三者チェック①	修正なし（ただし不要な空白を削除） 2025.2.12 八田
第三者チェック②	
第三者チェック③	